

 労協連だより

田嶋 康利

労協連では、来る11月26～27日に「ともに生き、ともにたたく社会をつくる」をテーマに「全国コミュニティケア集会2016」を東京で開催する。

6月総会で、地域の困難や必要に応じていこうとする組合員の主体性、能動性、自発意志の高まり―「まずはやってみる」、自らの意志で動く、その行動が地域を動かす―が仲間の実感となった。そして「何かしたい、何とかしたい」と願う地域の力との出会いをつくり、そのことが、さらに仲間の内発的な意思、主体性、創造性を高めていくこと。この“いもづる方式”～一緒にやろう、何とかしたいという地域の力と次々出会い、その出会いを生かすことでとりくみが連鎖、連続していくダイナミズム。総会後の運動事業の広がりの中で実証されようとしている。

昨年確立された協同労働の協同組合の理念・原則がお題目ではなく、日々の実践のテーマや実感へと高めるものにするためにも、どんな社会をめざすのか、自分はどうか生きるのか…全国に広がる子ども食堂やフードバンクなどの社会連帯運動、地域における総合福祉拠点づくりへの展開などに立ち向かう姿から、一人ひとりの組合員が協同労働と重ねて向き合い始めていることを実感している。

私たちは、その取組みをさらに高めるために、11月に全国コミュニティケア集会を開催することとした。これまで開催してき

た高齢者・障害のある人のケアの実践を交流するケアワーカー集会の枠組みを大きく変えて、子ども・子育て、障害のある人の就労創出、社会的困難にある人の自立支援など、多世代・共生社会の創造に向けたコミュニティケアづくりの総合福祉拠点を地域でどのように創り出していくことができるかを主要テーマにおいている。

社会が分断され、奪い尽くす経済、奪い尽くす社会体制が覆う中で、社会のあらゆる分断を超えて、人と自然の結びつきの豊かさを感じられるコミュニティ、「何があっても大丈夫」「決して独りじゃない」と感じられる共同体を、当事者・市民の手で地域に無数につくり出していく。そのために、協同労働で生活と地域が必要とする仕事を自らおこそう、居場所をつくろう、総合福祉拠点をつくろうと、組合員・仲間が地域・市民に全面的に呼びかけていくことができるかどうか問われている。

この11月集会を目前に開催する10月全国代表者会議では、6月総会の「今期は全ての現場・事業所が「協同労働仕事おこし講座」(自前のプラットフォーム)を展開する」との提起を本気になって全国で推し進めることを確認する。この取り組みは、協同労働を市民に伝え、居場所づくりと仕事おこし、総合福祉拠点づくりを呼びかける中で、組合員の協同労働への確信・実感と仕事おこしの基礎的な力を格段に高める取り組みへと高まることになるだろう。

この11月集会は、協同労働による地域における総合的なケアの実践の到達段階と可能性・課題を共有する場にしていきたいと考えている。ぜひとも、会員・研究者の皆さんの参加を呼びかけます。

◆11月全国コミュニティケア集会の開催趣旨

富める者が奪い尽くす社会、分断され連帯できない地域、市民。孤立と人間疎外が極まり、「この社会のどこにも自分の居場所がない」と感じる人が増えている。ケアを通して、困難や障害を社会に連帯を生み出す力に変えて、誰ひとり排除しない、ともに生きる社会をつくり出せるのか、私たちに問われている。

利用者・市民・働く者がお互いを認め合い、主体者となり、力を合わせる“協同労働”という働き方を通して、ともに生き、ともに働く社会をつくり出したい。弱者支援、制度の限界を超えて、市民の手によるコミュニティケアの創造へー皆さんの参加を呼びかけます。

◆全体集会企画11月26日(土)

10:30~17:30 ニューピアホール(竹芝)

- ◎基調提起 「ともに生き、ともにはたらく社会をつくる」
- ◎記念講演 「個別支援と地域づくりを結んで、社会の変革へ」中島康晴さん(特定非営利活動法人 地域の絆 代表理事)
- ◎パネルディスカッションI 「共に生きる社会をつくる～当事者が居場所づくり、

仕事おこし、社会を変える主体者に」

パネリスト

- ・野々村光子さん(東近江圏域 働き・暮らし応援センター“Tekito-”センター長)
- ・ワーカーズコープの現場から
コメンテーター：加藤彰彦さん(沖縄大学名誉教授、ワーカーズコープ・センター事業団顧問)

◎映画上映：「ほのぼの、と地域で支え合い共に生きる」(仮題：西山正啓監督)

◎パネルディスカッションII 「総合福祉拠点(地域共生拠点)づくりへ～“決して一人じゃない”と感じられる共同体を市民の手で」

パネリスト

- ・岡元ルミ子さん (ワーカーズコープ・センター事業団国分地域福祉事業所ほのぼの所長)
- ・ワーカーズコープの現場から
- ・大谷信一さん(ワーカーズコープ・センター事業団鳥取地域福祉事業所さんいんみらい所長)
- ・田中裕之さん(鳥取県八頭町福祉事務所長)

◆11月27日(日)10:00~16:30

分野別フォーラム

- ①子ども・子育てフォーラム「子どもの育ちと自然・労働・コミュニティ～ともに生きる社会の創造へ～」会場)TKP赤坂駅カンファレンスセンター・ホール13A
- ◎記念講演 奇跡のむらの物語 1000人の子どもが限界集落を救う！
辻英之さん(NPO法人グリーンウッド自

然体験教育センター 代表理事)

◎パネルディスカッション「子どもが育つ
大人も育つまちづくりと協同労働」

近藤博子さん(気まぐれ八百屋だんだん)
ワーカーズコープの現場の実践から

◎記念鼎談 汐見稔幸さん(白梅学園大学
学長、東京大学名誉教授)

永戸祐三さん(ワーカーズコープ連合会
理事長)

星平順子さん(ワーカーズコープ九州沖
縄本部長代行)

②「共に働く」職場づくり・仕事おこし
フォーラム 会場)TKP新橋カンファ
レンスセンター・ホール2

◎パネルディスカッションI

「若者たちの地域づくり～場づくり・仕
事おこしの挑戦と可能性」

パネリスト 無茶々園、ワーカーズコー
プの若者たち

コメンテーター 南出吉祥さん(岐阜大
学地域科学部准教授)

◎映画上映 「人生ここにあり！」(イタリ
ア映画)+公演「モップダンス」

◎パネルディスカッションII「可能性を発
揮する、労働の芸術化と文化の創造」

ワーカーズコープの現場の実践から

③高齢・障がいケアフォーラム「“いのち
の世話”を自らの手に取り戻す～弱者支
援、制度の限界をこえて、コミュニティ
ケアの創造へ」 会場)TKP新橋カンファ
レンスセンター・ホール1A

◎記念講演「本人中心の支援と共生社会づ
くり」

伊藤勲さん(認定NPO法人やまぼうし理
事長)

◎パネルディスカッションI「当事者主体
のケアを深める」

ワーカーズコープの現場の実践を中心に

◎パネルディスカッションII「ともに生
きる・ともにたたく・地域をつくる」

パネリスト 安倍真紀さん(社会福祉法
人佛子園三草二木西圓寺施設長)、ワー
カーズコープの現場の実践から

コメンテーター 宮崎隆志さん(北海道
大学教育学部教授)